

式 辞

富山福祉短期大学 第二十四回卒業証書・学位記授与式

卒業生の皆さん、本日は誠にありがとうございます。この2年間、コロナ禍の中、多くの苦労を強いられたと思いますが、それらを乗り越えてきた様々な努力に敬意を表するとともに、心からお祝いを申し上げます。そしてご臨席はいただけませんでした。皆さんを温かく愛情を持って支えて来られた保護者・ご家族の皆様にも、お祝いを申し上げたいと思います。

今回は、二十四回目の式典となります。今回の卒業生162名を加え、この二十四年間で本学から合計3,422名の卒業生が巣立って行きました。

この式典では、大学等の課程を修めたことの証として、学位記が授与されます。

本学では、

1 質実にして明朗な人格形成

1 専門的な学問とその応用を通して社会に貢献する人格形成

という「建学の精神」に基づき、教育目標の「つくり、つくりかえ、つくる」を実践躬行し、各学科の所定の単位を修めた学生に卒業を認定し、学位を授与する事としています。

皆さんには、これらが十分に確認できた結果、学位記が授与されました。

先にも述べたように本学の教育目標は「つくり、つくりかえ、つくる」です。皆さんは、この2年間あるいは3年間で、常に自分自身を見つめ、高みを目指して成長していく姿勢を身に付けて来られたと思います。社会に船出した後も、自分が変わる。そして社会、世界をも変える皆さんであって欲しいと願っています。

なお、現代は日々膨大な情報が飛び交っています。この情報に振り回され、翻弄されて自らを見失いかねません。どの情報が正しいのか、偽情報なのか、事実をしっかりと確認しながら、「自分の頭で考え、判断する」事を忘れないで頂きたい。また、情報通信技術やAI技術等のテクノロジーが急速に進化し、「AIとの共存社会」がやってくる中、私たちは、人間にしか出来ない能力、「コミュニケーション力、他者理解に基づいた協調性、創造性、等」を磨き上げていく事が求められると思っています。皆さんは、まさにそうした能力を富山福祉短期大学で培ってきました。

社会に出てからも更にそうした能力に磨きをかけて、活躍して頂きたいと思います。

さて、今皆さんが生きている時代についてももう少し考えてみましょう。今の時代は4つのキーワードで表されると言われています。

「変動性」、「不確実性」、「複雑性」、「曖昧性」です。変化が激しく、
「この先私達を取り巻く環境がどう変化していくのか」分からない。また、
様々な要素・要因が複雑に絡み合っていて、単純な解決策を導き出すのが難しく、「本
当にこの方法で解決できるのか」といったように、絶対的な解決方法が見つからない曖
昧な状態です。

つまり、今の時代は、「先行き不透明で、将来の予測が困難な状態」であるという事
です。新型コロナ感染拡大の状況や地球温暖化に伴う気候変動や異常気象、台風や地震
などの災害、そして今まさに世界で起こっている事態等、予測困難な事象が次々に起っ
ています。

こうした時代の中で生き抜いていく皆さんに、是非心に留めておいて頂きたい三つ
の事をお伝えしたいと思います。

一つ目は、「絆」です。

皆さんは、今回、コロナ感染拡大の影響で、保護者の皆さんに参列頂けなく卒業式を
迎えました。2年前の入学式は分散開催で、一同に会する事なく実施されました。入学
当初はリモートでの遠隔授業で始まり、対面授業でもソーシャルディスタンスが求め
られ、クラスの仲間ともコミュニケーションがとりづらい状況が続いたと思います。し
かし、人間は一人では生きていけない生物なのです。一人一人の繋がりが疎遠になりや
すい今の世の中では、人と人との心の繋がり、絆が最も重要で有る事を忘れないで下さ
い。縁あって、同じ志を持って集った仲間との絆をいつまでも大切にしてください。

二つ目は、「ケアの心」です。

ケアという言葉には、不安や痛みを抱える人を気遣い、希望や安らぎを与えるという
意味が込められていると思います。

皆さんは、本学の入学者受入方針にある、「思いやりの心を持ち、円滑なコミュニケ
ーションをとる努力の出来る人です。」常に他者を思いやり、誰かのために心を砕き、
行動するというケアの心を持って、この2年間、3年間学び、大きく成長されたと思
います。物理的、精神的に困難を抱えて生活する方々が多く存在する社会で、これまで身
に着けてきたケアの心を更に磨き上げ、専門職としての周囲からの期待にしっかり応
えて頂きたい。

三つ目は、「ポジティブシンキング」「積極的思考」です。

昔から、「病は気から」というように、心の働きが肉体に与える影響は多くの人が気
づいていました。遺伝子工学の権威である筑波大学名誉教授「村上和雄」氏の著書「遺

伝子オンで生きる」の中に書かれている部分を少し紹介したいと思います。

おなじ構造を持つ約 60 兆個の細胞が心臓や肺、皮膚や髪等全く違う組織を作るのは細胞内の遺伝子の働きによっています。その遺伝子にはスイッチのようなオン/オフ機能が有る事が分かっています。そのオン/オフ機能は、一生固定されているものだけではなく、物理的・化学的・精神的刺激によって変化するという事が分かっています。例えば、楽しい事、嬉しい事、ワクワクする事、感動する事など、心の持ち方によって、ポジティブなストレスを与える事が出来れば、良い遺伝子を機能させる事が出来るという事です。

皆さんは、これから社会に出て、新たな挑戦をし、様々な困難・壁にぶつかり、悩み、くじけそうになる時も有るかもしれません。その時には、心の持ち方一つで、病気や自分の人生そのものをも変える事も出来るという事を思い出して頂き、目の前の困難・壁を乗り越えて下さい。乗り越えるのがしんどいと感じた時には、心の拠り所となる富山福祉短期大学を、教員を訪ねて来て下さい。いつでも暖かく迎えてくれるはずです。

前途洋々たる未来が拓がる社会への皆さんの旅立ちを心から祝福し、式辞といたします。

令和四年三月十九日

富山福祉短期大学 学長 松本三千人